

群馬県立伊勢崎商業高等学校 学校評価一覧表① (令和2年度版)

(様式1)

羅 針 盤			方 策		第1回 点検・評価		第2回 点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目	自己評価	外部アンケート等	改 善 策	自己評価	外部アンケート等	改 善 策	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①各学科の特色を踏まえ、専門性を生かした教育課程に、生徒の80%以上が満足している。	A	A	・今後も授業研究や現1・2年生の教育課程の検討を推進する。 【別紙生徒アンケート結果：92.1% 大いにはまるとあてはまる】	A	A	・より質の高い学びができるように、毎時の授業の質を向上させる授業改善を大切に。 【別紙生徒アンケート結果：90.9% 大いにはまるとあてはまる】	
		②「あいさつは人より先に元気よく」を実行している生徒が80%以上である。	A	A	・現在の取組を継続する。 【別紙生徒アンケート結果：91.4% 大いにはまるとあてはまる】	A	A	・現在の取組を継続する。 【別紙生徒アンケート結果：89.0% 大いにはまるとあてはまる】	
		③自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。	A	A	・清掃活動を徹底する等、良好な学習環境を整える。 ・部活動の充実、道徳教育や人権教育の推進を図り、自主的、主体的、協力的に学校生活が送れるよう支援する。 【別紙生徒アンケート結果：89.9% 大いにはまるとあてはまる】	A	A	・生徒一人ひとりを大切に、きめ細やかな指導を継続する。 【別紙生徒アンケート結果：88.5% 大いにはまるとあてはまる】	
		④インターンシップへ積極的に参加し、参加した生徒の80%以上が満足している。	—	—	・社会における対人関係や協調性、職業意識をはぐくむ。進路考察等に役立つ受入事業所の開拓を行う。 ・商業科目等の学習を通して、ビジネス活動に興味を持たせ、長期インターンシップへの主体的な参加を支援する。	—	—	・新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されるため、本年度についてはやむを得ず中止とした。	・実施方法や時期などについて検討していきたい。
		⑤社会人講師（交通安全教室、非行防止教室等）による講演等を生徒の80%以上が満足している。	—	—	・講演等のねらいを明確にし、生徒の興味、関心、知識、理解を深める魅力ある講師を招き、事前の打ち合わせをしっかりと行う。	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1学期は未実施。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、可能な範囲で実施した。
		⑥「課題研究」に、主体的に取り組んだと自己評価している生徒が80%以上である。	A	A	・学期や年間を見通した自己テーマを設定させ、自信を持って取り組めるよう支援する。 ・実践的な体験を通して、自発的な取り組みを引き出す。	A	A	・講座内での共同作業や、各自の工夫された取り組みによって自己有用感が高まっている。	・1年間のまとめとして生徒研究発表に向けた対策を考えていく。 【別紙生徒アンケート集計結果：96.1% 大いにはまるとあてはまる】
II 生徒の意欲的な学校活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	①生徒の実態を踏まえた学習指導を行い「授業が分かりやすい」と、生徒の80%以上が答えている。	A	A	・研究授業や授業研究を通して、指導力の向上を図る。 ・必要に応じて中学校までの学習内容の学び直しを行い、基礎基本の定着を図る。 ・視聴覚教材やICT機器を有効活用する。	A	A	・授業アンケートの結果をフィードバックし、生徒の実態に合わせた授業を展開し、生徒の理解度を更に高めていく。 【別紙生徒アンケート結果：82.7% 大いにはまるとあてはまる】	
		②すべての教師が「言語活動の充実」「協働学習」「ICT活用」等のテーマを設定し、組織的な授業改善に取り組んでいる。	A	—	・「主体的・対話的で深い学び」の視念に立ち、生徒の主体性を引き出す授業を目指し、授業改善の推進を図る。	A	—	・生徒の主体性を引き出す効果的な授業を研究授業で実施し、授業研究においてフィードバックすることでスキルを共有し、さらなる授業改善に取り組んでいく。	
		③読書指導により、学校図書館における1日平均貸出冊数が20冊以上である。	B	—	・「図書館通信」及び「図書館報」を定期的に発行し、生徒への読書意識を高める。 ・図書館のディスプレイの工夫や「図書館通信」による新着図書や広く読まれている本のPRを積極的に行う。 ・蔵書データのデジタル化を進め、バーコードによる効果的な貸出を推進し、図書館の利用を増やす。	—	—	・学校再開後は定期的に広報を発行している。 ・本に興味に向くよう、季節等に合わせたコーナーを設置している。 【8月末までの1日平均貸出冊数9.6冊】	・広報類は定期的に発行している。生徒の興味を引けるような工夫を考えた。 ・ミニゼリオバトルやPOP作成に合わせて図書の展示をした。今後も積極的に行事をおこなっていききたい。 【12/24までの1日平均貸出冊数8.2冊】
		④学習に意欲的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	A	A	・学習の進度、理解度等に遅れのある生徒に対し、習熟度別学習や計画的な補習等を実施し、つまづきや遅れを克服する。 ・学習に消極的な生徒に対し、担任と教科担当との連携した指導により意識の変革を促す。	A	A	・個に応じたきめ細かな指導を実践することで「できる」「分かる」という充実感や達成感を持たせ、学習意欲の高揚を図る。 【別紙生徒アンケート集計結果：87.4% 大いにはまるとあてはまる】	・現在の取組を継続する。 【別紙生徒アンケート集計結果：88.5% 大いにはまるとあてはまる】
		⑤授業以外での全ての自主学習時間（家庭学習及び朝学習や放課後の学習を含む）は、1日平均1時間以上である。	B	B	・教科指導と連動した計画的な宿題や課題を提示し、ねらいや学習方法、提出日等を明示し、課題を真摯に取り組み提出させる姿勢を育てる。 ・朝のSHR前に「朝の学習活動」を導入し、学習意欲の喚起と習慣化を図る。 ・PTA総会や各学年保護者会、連絡メールを通して、保護者への協力体制を強化する。 ・補習への出席について、教科、学年で協力して取り組む。	—	—	・授業以外での学習時間は増加してきているので、現在の取り組みを組織的に推進する。 【別紙生徒アンケート結果：66.4% 1時間以上・30分～1時間】	・自主学習時間は、例年に比べ増加している。今後も学習課題を明確にし、「朝の学習」等を組織的に継続できるように努める。 【別紙生徒アンケート結果：56.5% 1時間以上・30分～1時間】
		⑥全商検定1級三種目合格者が100名以上である。	—	—	・授業での観察、登校時のあいさつ、声かけ等の積極的な実施により、生徒の変容を見落とさない指導に努める。 ・定期の学年会議・運営委員会では、必ず生徒に関する情報交換を行う。 ・「生徒会報」や生徒会専用掲示板等を活用し、活動状況を全生徒に周知する。 ・生徒会行事への全員参加を目標に、生徒個々の意見を生かした計画を立てる。 ・長期休業後の生徒面談月間で、適応指導と併せていじめの発見に努める。 ・休み時間や昼休み等において生徒の行動を観察する。 ・定期的に生徒の実態に応じたアンケートを実施する。	—	—	・今後も積極的に情報交換を行い、全職員の共通理解のもとで生徒の指導に生かす。 ・各種生徒会行事や、毎朝行っているあいさつ運動、定期的に実施している校外清掃ボランティア活動等において、全校生徒が主体的・積極的に参加できるように継続する。 【別紙生徒アンケート結果：88.4% 大いにはまるとあてはまる】	・生徒の活動を観察し、良い変化も情報共有する。 ・毎朝実施のあいさつ運動、毎月実施の清掃ボランティア活動、球技大会等の生徒会行事に対して、全校生徒が積極的に参加できるように、学級会長会議等においてその周知徹底を図るように努める。 【別紙生徒アンケート結果：79.9% 大いにはまるとあてはまる】
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	①職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に1～2回程度実施している。	A	—	・休み時間や昼休み等において生徒の行動を観察する。 ・定期的に生徒の実態に応じたアンケートを実施する。	A	A	・昨年と比べると良い評価となった。職員のいじめに対する意識向上や生徒・保護者のいじめの認知に関する理解が深まったことが理由と考える。 【別紙生徒アンケート結果：82.9% 大いにはまるとあてはまる】	
		②生徒会活動が充実していると評価している生徒が、75%以上である。	A	A	・連絡がなく欠席等の生徒宅には、担任がその日のうちに電話等による確認を行う。 ・基本的な生活習慣の確立を全校集会やSHRで話し、促す。 ・目的意識を高めさせるために、生活目標を立てさせる。 ・必要に応じて個別健康相談を実施する。 ・年度始めに行う「部活動説明会」の充実を図る。 ・二者面談等を活用し、部活動未加入者に対して担任から加入を働きかける。 ・各種集会と学級会長・部長会議を利用し、部活動の意義を話し加入を促す。 ・各学年保護者会を通じて、部活動の意義を説明し、保護者の理解を得る。	—	—	・生徒指導部と学年、保護者との連携を図りながら改善に努める。また、新たな欠席者を増やさないため、欠席が連続した生徒については、担任が連絡を入れる。 【12月末までの全校欠席率1.4%】	
		③「学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取り組みを積極的に行っている」と認識している生徒が80%以上である。	A	A	・「生徒会報」や生徒会専用掲示板等を活用し、活動状況を全生徒に周知する。 ・生徒会行事への全員参加を目標に、生徒個々の意見を生かした計画を立てる。 ・長期休業後の生徒面談月間で、適応指導と併せていじめの発見に努める。 ・休み時間や昼休み等において生徒の行動を観察する。 ・定期的に生徒の実態に応じたアンケートを実施する。	A	A	・ホームルームや学年集会等、機会あるごとに欠席をしないように呼びかける。 【9月末までの全校欠席率1.0%】	・生徒指導部と学年、保護者との連携を図りながら改善に努める。また、新たな欠席者を増やさないため、欠席が連続した生徒については、担任が連絡を入れる。 【12月末までの全校欠席率1.4%】
		④欠席率が1.3%以下である。	A	—	・「進路たより」を継続的に発行する。	—	—	・部活動等での課外活動の取り組みや成果の情報を積極的に発信し、活動意欲を高めるように努める。 【9月末までの部活動加入調査：男子75.6% 女子82.5% 計78.7%】	・部活動顧問及び学級担任間との連携を図り、途中退部者生徒を減らすように努める。 ・部活動のより一層の活性化を目指し、指導及び対策を検討する。 【1月末までの部活動加入調査：男子84.2% 女子82.5% 計83.5%】
		⑤生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	A	—	・「進路たより」を継続的に発行する。	—	—	・ホームルーム活動などで「進路の手引」の活用を促す。 ・進路講話、学年集会、外部講師、進路ガイダンスなど、今後も生徒が希望進路について自ら主体的に考察していけるような場面を提供していく。 【別紙生徒アンケート結果：92.5% 大いにはまるとあてはまる】	・希望進路について主体的に考え、早期に具体化できるよう、卒業生が体験を語る機会を設けた。コロナ禍への対策を行いながら進路ガイダンスの充実を図った。 ・「進路報告会」は、進路決定者が進路実現の過程などの体験談を語ることで、1・2年生が進路について具体的に考えられる機会としている。 【別紙生徒アンケート結果：91.5% 大いにはまるとあてはまる】
		⑥部活動に加入している生徒が、80%以上である。	B	B	・「進路たより」を継続的に発行する。	—	—	・その時期に応じた進路情報を継続して発信していく。 【現在までの発行数：3回】	・「進路たより」を通じて、その時期に応じた各種情報を提供した。 【現在までの発行数：7回、年度末までに9号発行予定】
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	①学校から提供される進路情報が役立っていると評価する生徒が、80%以上である。	A	A	・進路希望調査や適性検査等の結果を保護者に知らせ、生徒の進路意識を認識してもらい、家庭との共通理解を図る。 ・進路希望調査は、保護者と生徒が話し合い、共通理解したうえで提出できるように内容とする。	A	A	・進路希望調査を実施することで、定期的に保護者と生徒の話し合いの場を設けるとともに、学校との共通理解に努めた。 【別紙保護者アンケート結果：88.2% 大いにはまるとあてはまる】	
		②進路通信を、年6回以上発行している。	B	—	・各学年が実施するオープンキャンパスや各機関が開催する進路相談会等への積極的な参加を促す、自ら情報収集する姿勢を育成する。 ・随時進路個別相談を実施する。また、生徒が相談しやすいよう進路室の環境整備を行う。 ・談話コーナーおよび教室に求人票、進学資料等を配置し、進路に関する情報を提供する。	A	A	・コロナ禍で見学が制限される中、生徒は、職場（企業）見学や大学等のオープンキャンパスに主体的に参加していた。今後も継続した指導を行う。 【別紙生徒アンケート結果：85.7% 大いにはまるとあてはまる】	・生徒は、職場（企業）見学や進学先のオープンキャンパスに主体的に参加しており、今後も継続した指導を行う。 ・求人票は、3年生の各クラスに、企業や大学情報などは談話コーナーに設置することで、生徒が情報の閲覧・収集が自由に行えるようにした。 【別紙生徒アンケート結果：86.4% 大いにはまるとあてはまる】
		③生徒の進路について理解している保護者が、80%以上である。	A	A	・進路希望調査は、保護者と生徒が話し合い、共通理解したうえで提出できるように内容とする。	—	—	・「進路たより」を通じて、その時期に応じた各種情報を提供した。 【現在までの発行数：7回、年度末までに9号発行予定】	・進路希望調査を実施することで、定期的に保護者と生徒の話し合いの場を設けるとともに、学校との共通理解に努めた。 【別紙保護者アンケート結果：88.2% 大いにはまるとあてはまる】
		④進路に関する情報を自ら得ようと努めている生徒が、80%以上である。	A	A	・進路希望調査は、保護者と生徒が話し合い、共通理解したうえで提出できるように内容とする。	—	—	・「進路たより」を通じて、その時期に応じた各種情報を提供した。 【現在までの発行数：7回、年度末までに9号発行予定】	・進路希望調査を実施することで、定期的に保護者と生徒の話し合いの場を設けるとともに、学校との共通理解に努めた。 【別紙保護者アンケート結果：88.2% 大いにはまるとあてはまる】
		⑤生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	A	A	・進路希望調査は、保護者と生徒が話し合い、共通理解したうえで提出できるように内容とする。	—	—	・「進路たより」を通じて、その時期に応じた各種情報を提供した。 【現在までの発行数：7回、年度末までに9号発行予定】	・進路希望調査を実施することで、定期的に保護者と生徒の話し合いの場を設けるとともに、学校との共通理解に努めた。 【別紙保護者アンケート結果：88.2% 大いにはまるとあてはまる】
		⑥目標とした進路を実現できた生徒が、80%以上である。	A	—	・進路希望調査は、保護者と生徒が話し合い、共通理解したうえで提出できるように内容とする。	—	—	・「進路たより」を通じて、その時期に応じた各種情報を提供した。 【現在までの発行数：7回、年度末までに9号発行予定】	・進路希望調査を実施することで、定期的に保護者と生徒の話し合いの場を設けるとともに、学校との共通理解に努めた。 【別紙保護者アンケート結果：88.2% 大いにはまるとあてはまる】
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	①学年保護者会等に積極的に参加している保護者が、100%である。	A	—	・保護者会等のねらい、内容を明確に伝え、担任から参加を働きかける。 ・「PTAだより」を配布する。	A	—	・現在の取組を継続する。 ・今後も家庭での指導に役立つ資料を提供できるように工夫する。メール配信も引き続き行う。	
		②学校のWebページを1か月に1回以上更新している。	A	—	・部活動の活躍、資格取得の成果、学校行事等のタイムリーな更新を行う。 ・伊商ニュースを作成し、Webに掲載する。 ・商業の教科書や生徒の活動を紹介するコーナーを設置する。 ・中学生の保護者や地域の方々の来校を促す。	A	—	・学校行事、部活動の活躍、資格取得等の成果について、タイムリーな情報発信を継続する。	
		③「公開授業週間」の実施により、「学校の様子がわかった」と参加者の80%以上が答えている。	—	—	・保護者会等のねらい、内容を明確に伝え、担任から参加を働きかける。 ・「PTAだより」を配布する。 ・部活動の活躍、資格取得の成果、学校行事等のタイムリーな更新を行う。 ・伊商ニュースを作成し、Webに掲載する。 ・商業の教科書や生徒の活動を紹介するコーナーを設置する。 ・中学生の保護者や地域の方々の来校を促す。	—	—	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1学期は未実施。	・中学生の保護者にも参観者が増えるよう、広報活動に努める。 【別紙公開授業週間アンケート結果：92.3% 十分達せられた・ほぼ達せられた】
		④「公開授業週間」の実施により、「学校の様子がわかった」と参加者の80%以上が答えている。	—	—	・保護者会等のねらい、内容を明確に伝え、担任から参加を働きかける。 ・「PTAだより」を配布する。 ・部活動の活躍、資格取得の成果、学校行事等のタイムリーな更新を行う。 ・伊商ニュースを作成し、Webに掲載する。 ・商業の教科書や生徒の活動を紹介するコーナーを設置する。 ・中学生の保護者や地域の方々の来校を促す。	—	—	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1学期は未実施。	・現在の取組を継続し、さらに充実させる。
		⑤「公開授業週間」の実施により、「学校の様子がわかった」と参加者の80%以上が答えている。	—	—	・保護者会等のねらい、内容を明確に伝え、担任から参加を働きかける。 ・「PTAだより」を配布する。 ・部活動の活躍、資格取得の成果、学校行事等のタイムリーな更新を行う。 ・伊商ニュースを作成し、Webに掲載する。 ・商業の教科書や生徒の活動を紹介するコーナーを設置する。 ・中学生の保護者や地域の方々の来校を促す。	—	—	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1学期は未実施。	・現在の取組を継続し、さらに充実させる。
		⑥「公開授業週間」の実施により、「学校の様子がわかった」と参加者の80%以上が答えている。	—	—	・保護者会等のねらい、内容を明確に伝え、担任から参加を働きかける。 ・「PTAだより」を配布する。 ・部活動の活躍、資格取得の成果、学校行事等のタイムリーな更新を行う。 ・伊商ニュースを作成し、Webに掲載する。 ・商業の教科書や生徒の活動を紹介するコーナーを設置する。 ・中学生の保護者や地域の方々の来校を促す。	—	—	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1学期は未実施。	・現在の取組を継続し、さらに充実させる。